

九州の身近なデータを  
ワンポイント解説する  
コーナーです。

# DATA in 九州

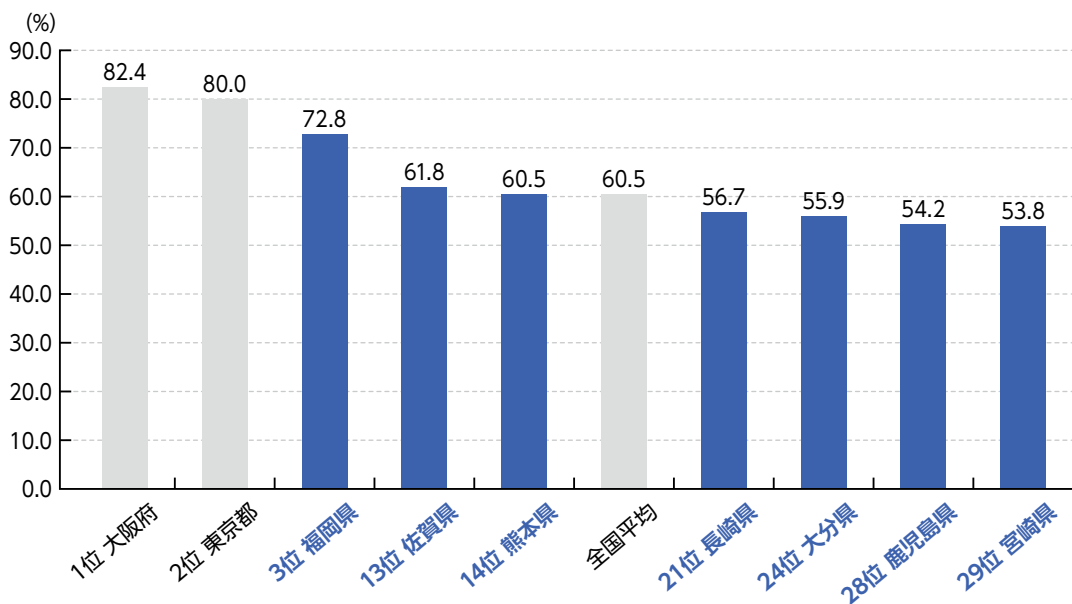
今月の注目データ

## 宿泊施設客室稼働率

2019年6月に20カ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議が、国内で初めて福岡市で開催されることが決定しました。G20首脳会合の誘致で、一時は有力視されていた福岡市でありましたが、宿泊施設の不足が問題視され、実現には至りませんでした。そこで都道府県別の宿泊施設の客室稼働率(2017年)を見てみると、福岡県が大阪府(82.4%)、東京都(80.0%)に次ぐ第3位(72.8%)となっています。

とくに福岡市内の宿泊施設は、外国人旅行者の増加に加え、コンサート等のイベントが重なる日の宿泊施設が慢性的に不足していたことから、今後、2020年3月までに新たに33棟(5,250室)のホテルが開業する見通しで、観光都市としてさらに成長することが期待されています。

単年の稼働率だけで見ますと、福岡県以外の九州各県は全国平均と同水準となっていますが、前年(2016年)との比較では、外国人旅行者の増加の影響を受け、福岡2.0pt(ポイント)、熊本2.5pt、長崎4.4pt、佐賀5.5pt、大分3.3pt、宮崎2.0pt、鹿児島4.3ptと、全国平均(0.8pt)を大幅に上回る伸びを示しています。



出所：国土交通省観光庁宿泊旅行統計調査を基にFFGビジネスコンサルティング作成